

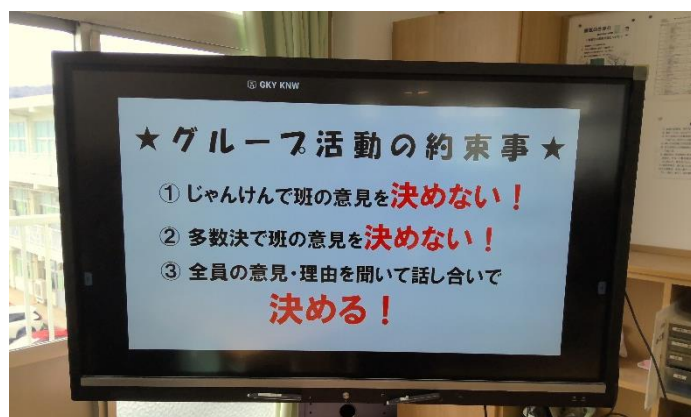
○2月13日（木） 【初任者研修研究授業】

2月13日（木）に「令和6年度 初任者研修校内研究授業」を行いました。今年度本校には3名の初任者が着任しました。初任者は1年間の研修が義務付けられており、年間を通して研修や授業研究に計画的に取り組んでいます。今回は、今年度最後の授業研究でした。初任者の先生方は、今回の研究授業に向けて準備を重ねて本番を迎えました。当日の授業の様子を少し紹介します。

＜1年道徳＞ 1年生は、尾和先生が受け持ちの学級で、道徳の授業を行いました。教科書の教材を使って「心の弱さを乗り越えるために」について考えました。個人で考えたり、グループで話し合いをして意見を交換したりしながら、考えを深めました。生徒の皆さんは、1つ1つの発問を真剣に考え、ワークシートやホワイトボードに意見をまとめて発表しました。



＜2年特活＞ 2年生は、永島先生が受け持ちの学級で、特活の授業を行いました。今回の学習の題材は「雪山での遭難（合意形成）」でした。この題材は雪山でヘリコプターの故障のため遭難した状況で、ヘリコプターに搭載している荷物（10種類）を、どんな順番で取り出すのかを決めるという内容でした。順番を決める際の理由づけが必要で、グループで意見を交換しあいながら、意見をまとめる作業に取り組みました。お互いの意見をグループ内で共有する作業は、お互いの考えを出し合い、内容を確認しながら進めていくため、お互いの考え方を理解するための時間となりました。生徒の皆さんが話し合いのルールに従って、真剣に話し合いを進める姿から、心の成長が感じられる授業となりました。生徒の皆さんにとって、これからの生活でも役に立つ大事なノウハウが詰まった授業でした。



2名の初任者の先生方は、研究授業終了後に参加した他の先生方から意見や感想を聞いて、自分の授業を振り返りました。個々の授業力の向上に向けて、うまくいった点と課題だった点を把握して、これからの指導に生かしていくことになります。生徒の皆さんと同様に、先生方も努力を重ねて成長していきます。今後の活躍を期待したいと思います。